



INDONESIA MISSION



発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション
 〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 TEL：0798-51-5100
 郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」



葉っぱは、帽子の代わりです
 スルートゥンバワンの教会学校

インドネシア・カリマンタン宣教のためにお祈りとご支援を
ありがとうございます。

上の写真はスルートゥンバワン村、GPIB教会のCSの子供達が、3月にピクニックに行った時のもので、山岳地帯の真ん中を流れるスカヤン川の中州で礼拝しています。グロリア寮Ⅱ舍監のフィカルは、最近このGPIB教会のCSを助けているのですが、子供たちが教会のルーティンの活動に退屈しないように、そしてGPIB教会の建物だけが礼拝の場所ではなく、また教会の建物の中だけが神様の声や説教を聞く場所ではないということを子供達に教えたかったそうです。

昨年から続くコロナ禍の様々な制限でストレスも溜まり内向きになりがちな私たちですが、この子供達のほほえましい様子(赤道直下の日差しで暑そうではありますが)に、心が広げられるようです。これから益々“枠を越えて”、宣教の働きが前進していきますように。

インドネシアミッション代表 高橋 めぐみ



関西聖書学院(KBI)にて

スルートウンバワン村 CS情報 インドネシアミッション代表 高橋めぐみ

「コロナ禍でのスルートウンバワン村」

コロナ禍でのスルートウンバワン村は、マレーシアとの国境が未だ閉鎖されたままなので胡椒が売れず経済的には大変ですが、村人たちの日常は普段と変わらず、マスクを着けずに過ごしています。マスクはエンティコンの町に下る時に付けるそうです。

子どもたちの学校は未だ週一回登校して宿題を受け取り、また提出するという形で続いている。グロリア寮生の多くは、登校日の前後は寮に泊まり、一緒に礼拝や聖書の学びをしますが、それ以外は自分の家に戻る生活をしています。



このようなコロナ禍の状況で寮生たちの学力の遅れや靈的なケアの時間が減った事が課題ですが、しかしマイナス面だけでなくプラスの事もありました。それはグロリア寮Ⅱがあるスルートウンバワン村(村はさらに2つの区、スルートウンバワン区とクバックラヤ区に分かれます)の2か所のGPIB教会との関係が強まり、子供たちへの奉仕の機会が増えたことです。特に昨年から舍監として奉仕してくれているフィカルはメビックで奉仕した経験もあり、クリエイティブに子どもたちを導いてスルートウンバワン村の教会学校に刷新の風が吹いています。



ブンカヤン・ベラカ寮 ロレン兄

シャローム！私はレノシウス・ロレンと申します。2004年5月13日にエンティコン区、スルートウンバワン村のバダット・ラマの農家に生まれました。

中学生の時、私はスルートウンバワンのグロリア寮Ⅱに住んで、エンティコン国立第2中学校に通いました。初めて寮に来た時は、私はまったく主イエス様のことを知りませんでした。寮生活の中で私は神様を知る方法を教えられ、導かれ、整えられました。学ぶことがたくさんありました。

中学2年生の時に、私は学費がなかったので学校を中退しかけました。私は絶望して只静かに部屋にいるしかありませんでした。すると、舍監の一人であるナンドさんが私を見つけて、どんな問題を抱えているのかと聞きました。それで私はナンドさんに私の問題を話しました。彼はカウンセリングをしてください、私が学校を続けて教育を受けることが出来るようになります。話を聞いてナンドさんが祈って下さって間もなく、ヘルマヌス先生が自分の仕事を手伝わないと聞いてきました。そして私は先生の仕事を手伝う度に、アルバイト料をいただき、中学校を卒業まで続けることが出来ました。神様が祈りに答えて下さり、とても嬉しかったです。

中学校を卒業後、私は高校への進学に再び悩むことになりました。私の両親の経済では高校への進学は不可能でしたので、私は神様に、進学出来よう、道を開いてくださるように祈りました。困難な状況でしたが、私はここまで私の人生を導いてくださった神様に感謝しました。私は一生懸命祈り、神様は再び祈りに答えてくださいました。最終的に、私の教育のために支援を受ける事ができ、ヘルマヌス先生の勧



めでブンカヤン国立第2高校へ進学することができました。これらすべては、私の人生にある神様の憐みのゆえだと信じています。このような機会を与えて下さった日本の支援者のみなさんに、感謝を伝えたいです。皆さんとめぐみ先生がいつも健康で、主イエスキリスト様にあって幸せであるように、いつも祈ります。

どうかベラカ寮で私の存在が祝福となるように、寮での指導によって良い子どもになるように、お祈りください。今、コロナのパンデミックで、私はベラカ寮で自習するしかできません、対面での授業はまだ許されておらず、学校へ行くのは宿題を先生に提出しに行くだけです。コロナのパンデミックが早く終息し、また普通に学べるようになって欲しいです。以上、これが私の証です。日本の支援者の皆さんにお証しできたことを感謝します。いつか皆さんとお会いできたら、と願っています。主イエスキリストの祝福がありますように！！！！

エンティコン 卒業生の証し ドミアヌス兄

シャローム、こんにちは、イエスキリストの愛と平安がありますようご挨拶いたします。

まず初めに、私が今この教会に派遣され奉仕できているのは、アンテオケ宣教会を通して日本のすばらしい支援者の方々のお陰であると、主イエスキリスト様に感謝しています。

私は、3年間の任務で、ニューギニア島パプア州のGMIIマナレポ・ソロン教会に派遣されました。私はここで牧師のアシスタントとして諸奉仕を任されています。すべての教会の活動はスムーズに進んでいます。毎週土曜日は午後3時ごろまで断食祈祷会も持っています。私が任されているのは、日曜礼拝、日曜学校、ユース集会、水曜学校(CS)、木曜学校(CS)での奉仕です。その他、礼拝用の賛美を準備したり、毎週の週報も作成しています。

カリマンタン島西部地図



コロナ禍で、諸集会を開くことができず困難な時を過ごしましたが、最近、次の諸集会を再開することができ感謝です。家庭集会(火曜)、水曜と木曜のCS、子供礼拝(金曜)、断食祈祷(土曜)、ユース集会(土曜)そして婦人集会(金曜日)です。

ここパプア州ソロンの文化は多様性に富んでいます。それは、原住のパプア人だけでなく、インドネシアの全土からの部族—ダヤク族、バタク族、アンボン族、ジャワ族、テルナテ族とトラジャ族—が集まっているからです。私はここパプアの文化にも慣れてきており、食べ物も問題ありません。ただ、ここは物価は非常に高く、私は牧師館の裏に野菜やパパイヤなどを植えて生活の足しにしています。なかなか太る事ができませんが、健康が守られて感謝です。皆様の上に祝福がありますように。感謝と共に。

(ドミアヌスはエンティコングロリア寮から献身し、ATI神学校へ。日本からの奨学生の一人。去年6月に卒業し、3年間のお礼奉公で今はニューギニア島パプア州で奉仕しています)



インドネシアミッション代表 高橋めぐみ

「ミッションハウス建設」

タヨンナ夫妻はATI神学生で、奥さんのナナさんは日本からの奨学生でした。卒業後は共にATI神学校で仕えました。そして、タヨンナ夫妻は昨年1月から未伝部族●族伝道に専念するために故郷の西カリマンタン州S県に移動しました。以下タヨンナ氏の証しの抜粋です。

『神様は●部族の中に入行って行き、福音を伝えるために私達を召されました。そして感謝な事に、今まで彼らの中にイエスキリストを主と信じ自分を捧げた人達がいます。しかし新たな問題も起きました。それは、信じた人達は家族から追い出されて、仕事もなくなり、教会も保護する場所を提供できない(この部族の強硬派からの圧力を恐れるため)という現実です。救われた彼らを生活面とそして靈的に助けなければなりません。そのような中で、私は神様からミッションハウスを建てるようという大きなビジョンを受け取りました。そして親からの遺産の土地(50m x 50m)も与えられました。』

このミッションハウス建設は昨年10月末に定礎式を持ってから、今まで信仰によって進んでいます。多くの祈りと献げものがあり、3月末に屋根までできました。これから次のステップ、壁、床、窓、扉、電気、水回りなどに進んでいきます。主が進めてくださるように、またこのミッションハウスが豊かに用いられるようにお祈りください。

ミッションハウス建築



ミッションハウスを建てる目的

- 部族のために祈る、祈りの家として
- 部族伝道に重荷を持つ者の弟子訓練の場所として
- イエスキリストを救い主として信じた●部族の人達を受け入れる場所として
- 信じた●部族の人々の、靈的、実際的な学びと訓練の場所として

ー 祈りのリクエスト ー

ATI神学校

- ◎コロナ禍の中での神学生の訓練と学びのために。スタッフの祝福のために。
- ◎ATIスタッフ、学生によるデボーション動画を毎日YouTube配信しています。動画が用いられるように。
- 3つの学生寮共通**
- ◎コロナ禍の状況で3つの寮の舍監達に知恵が与えられるように。寮生たちの靈的指導のために。子供達は交替制で通学し始めています。
- エンティコン・グロリア寮Ⅰ**
- ◎緊急！3月末に、大雨により公道から寮へ向かう通路（私道、約100m）半ばで地崩れが起こりました。専門家からアドバイスを得た結果、まず水路増設と草の植栽だそうです。早急に対処していくよう。
- ◎女子寮横の貯水槽の上に女子用台所が新設され、また寮正面に雨どいが設置されました。感謝
- ◎出産間近（第二子）の舍監ルルフィのために。
- スルートンバワン・グロリア寮Ⅱ**
- ◎寮の前の州道整備のため、寮は将来移転しなければなりません。移転先を探していますが、山岳地帯のためになかなか適した土地が見つかりません。神様が移転に知恵と導きを与えてくださいるように。

胡椒奨学金プロジェクト

富浦信幸

数年前母教会の礼拝に高橋めぐみ先生が来てくださった時のことです。お土産に白胡椒の小袋を頂きました。その数日後、母教会で地域の方を招いてのBBQ大会があり、その時に初めてお肉に白胡椒を使ったのですが、その香りの良さに感動したのを覚えています。来てくださった方々にも美味しいと大好評でした。以来、白胡椒は、BBQの必需品となっています。牛、豚、鳥などのお肉にも合います。最近は、イノシシの肉を焼くこともありますが、もちろん白胡椒です。ジビエの独特の味にも白胡椒はよく合います。また、我が家でも料理に使う胡椒は、カリマンタンの白胡椒が定番になりました。

以下、妻の談

「白胡椒を使わない日はありません。白胡椒は、和洋中どんな料理にも使えます。みそ汁にも合います。その香りは食欲をそそります。黒胡椒ほど主張しないので、料理の味を引き立ててくれるのでとても便利です」

何よりの喜びは、白胡椒を使うことで寮の子ども達の奨学金の助けになっているということです。現在3名の子どもをサポートしています。しかしサポートを必要としている学生は他にもたくさんいます。願わくは、今後5名、10名と拡大していくことを期待しています。彼らは、将来のインドネシア宣教の担い手です。胡椒プロジェクトは、インドネシア宣教の将来への投資とも言えます。

引き続き、胡椒プロジェクトにご協力くだされば感謝です。ストックは十分にあります。まだカリマンタンの白胡椒を使ったことがない方、是非お勧めします。プレゼントにも喜ばれます。

皆さん、一緒にインドネシア宣教を支えていきましょう！

胡椒奨学金プロジェクトに関するお問い合わせは以下にご連絡ください。

八尾福音教会 曙チャペル 伊藤勝利
(インドネシアミッション胡椒プロジェクト担当)
住所:〒581-0026 大阪府八尾市曙町2-1-7
アドレス: akebono@jec-net.org

*子ども達への奨学金の献金一口1000円～返礼品として西カリマンタンの白胡椒50gをお渡しいたします。

ブンカヤン・ベラカ寮

- ◎ベラカ寮の補修工事（屋根、梁など経年劣化部分）のために。
- ◎舍監のジュマディに第一子（男の子）ジェイソンくんが与えられました。守りと祝福のために。
- 奨学生**
- ◎奨学生のエモンヒスイン（グロリア寮2出身）が大学を卒業しました。これからの導きのために。
- ブニティ・アナスタシス教会**
- ◎華人中高生たちの家族が救われるよう。
- 沿岸部族の働き**
- ◎●族のミッションハウス建設が進んでいます。完成に至るよう。
- ◎●族の人達との月一回の聖書学び会がスタートしました。集う人達の靈的成長のために。
- ◎伝道者ハリジョ家族、タヨンナ家族の必要がいつも満たされるよう。
- その他**
- ◎カリマンタンへの宣教師（長期、短期）が起こされるよう。

広大な胡椒畑



胡椒



お肉にもピッタリ

胡椒の実を選別
曙チャペルの皆さんに感謝！

我が家の白胡椒



胡椒の実

「インドネシアミッション」会計報告

(2020年11月1日～2021年2月28日)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
一般献金	1,726,820	活動費・ATI神学生他援助	1,000,000
ATI神学生奨学金指定献金	183,000	ベラカ寮改修費用	1,500,000
ブニティ・エンティコン指定献金	40,000	●族ミッションハウス建設援助	593,000
大学生奨学金指定	4,000	個人指定	96,000
個人指定	84,000	ニュースレター印刷代・発送費	45,980
●族ミッションハウス建設献金	593,000	事務・雑費等諸経費	401,564
収入合計	2,630,820	支出合計	3,636,544
10月末残高	4,378,817	繰越金	3,373,093
合計	7,009,637	合計	7,009,637

毎月の現地支援金額内訳(2020年11月～21年2月の月平均額)

支援先	金額(円)
エンティコン・グロリア寮 I	38,215
スルートンバワン・グロリア寮 II	50,643
ブンカヤン・ベラカ寮	54,359
ATI神学校	35,141
中高校生支援	78,108
大学生支援	79,046
●族★族支援	43,870
ブニティ・アナスタシス教会	8,398
アンテオケ館維持費	3,820
特別献金 (ミッションハウス費用、 グロリア寮 I 雨樋・台所工事)	203,263
通信費・銀行手数料	1,491
合計	667,699



※前々号より、クリスチャンパートナーズ、胡椒プロジェクトより奨学金、一教会または個人から個人指定されている奨学金、支援金も含めてご報告しています。

編集後記

グロリア寮 I のワークキャンプに参加した者として、今回の証しを懐かしく読み返していたところ、大雨のために、まさにこの進入路の一角落が土砂崩れを起こした、との知らせが入りました。本格的な対応が必要になりそうです。お祈りください。

インドネシアミッション委員 檜垣正裕